

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



アオサイ月次レポート

18年4月 アオサイ運用実績 (18/4/27現在)

基準価額(米ドル)

91.57

前月比(18/3/29~)	- 6.90	- 7.01%
設定来(08/11/30~)	- 8.43	- 8.43%
年初来(17/12/31~)	+ 1.16	+ 1.28%

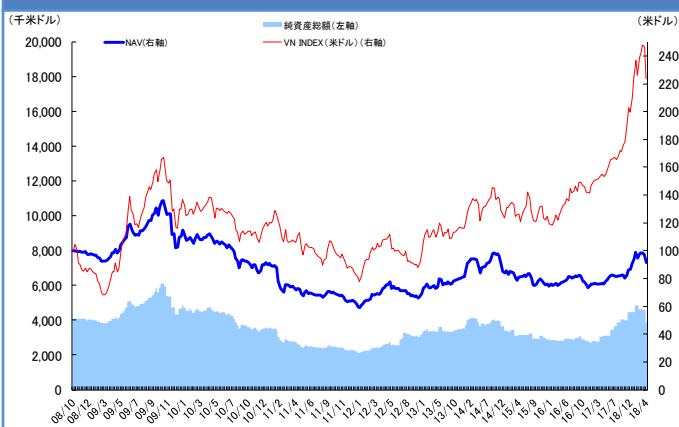
ファンド口数 前月比

42,089 - 4,374

ファンド純資産額(米ドル) 前月比

3,854,381 - 721,213

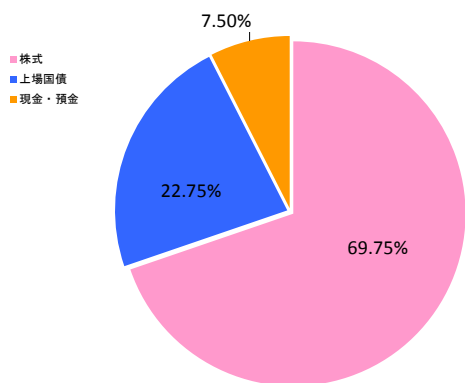
NAVと純資産の推移 (設定来~)



※NAV(米ドルベース)、VN Index(米ドルベースを設定日100として指数化)

18年4月 組入比率(全資産) (18/4/27現在)

(米ドル)



18年4月 組入上位銘柄(株式) (18/4/27現在)

	銘柄 (コード)	市場	比率
1	ビナミルク (VNM)	V	12.10%
2	ホアファットグループ (HPG)	V	11.43%
3	フーニュアンジュエリー (PNJ)	V	10.90%
4	軍隊商業株式銀行 (MBB)	V	9.51%
5	リー冷蔵電気工業 (REE)	V	8.60%
6	ペトロベトナムガス (GAS)	V	7.29%
7	ピナコネックス (VCG)	H	5.98%
8	ビン・グループ (VIC)	V	5.70%
9	FPT (FPT)	V	5.17%
10	ベンチャー水産 (ABT)	V	4.78%
	その他		18.54%
	(計)		100.00%

※市場の「V」はHOSE上場銘柄、「H」はHNX上場銘柄

18年4月 組入上位セクター(株式) (18/4/27現在)

	セクター	比率
1	石油・ガス	18.32%
2	銀行・金融	12.45%
3	不動産開発・建設	11.68%
4	鉄鋼	11.43%
5	電力	8.60%
6	通信・IT	5.17%
7	水産	4.78%
8	肥料	1.25%
	その他	26.31%
	(計)	100.00%

【管理運用会社】

FPT Fund Management Joint Stock Company.

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオサイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認下さい。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】 フリーダイヤル: 0120-411-965
 ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



ベトナム経済概況

<生産・輸出は順調、外貨準備も増加>

ベトナムの2018年1~4月の間の輸出は好調で特に4月に入ってから受注が好転したため製造業を中心に順調に推移している。特に日本など外国からの受注が好調であったようである。購買担当者指数も3月の51.6から4月は52.7と上昇、雇用も増加し、過去25ヶ月間増加を続けたと報じられている。

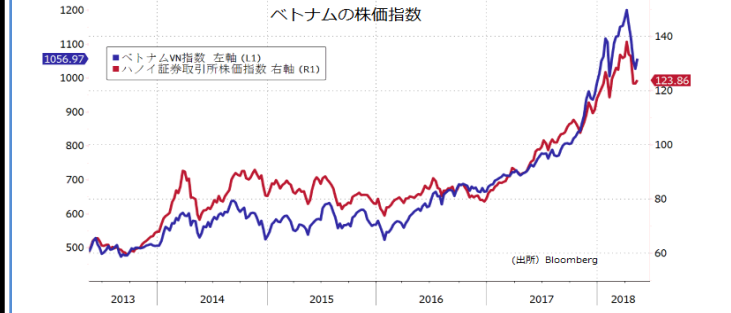
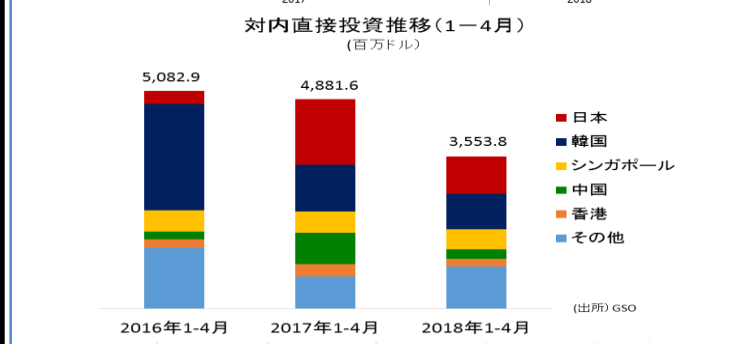
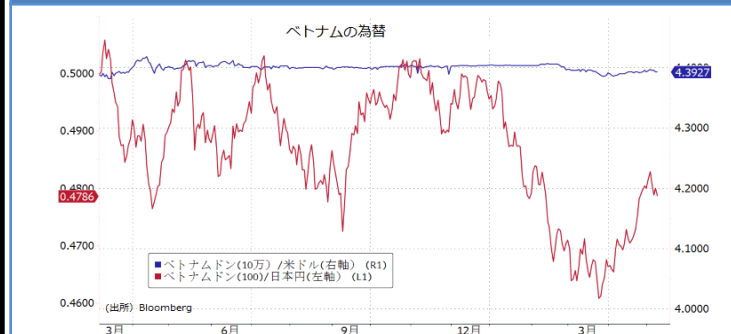
外貨準備も輸出が好調なことから順調に増えている。対内直接投資も以前認可された案件の実際の資金流入が期待されている。

<対内直接投資>

輸出は主に外資系企業が牽引しているものの、ここ数年の間、対内直接投資は伸び悩んでいる。例年の1~4月の間の対内直接投資額を比べてみると少しずつ減少していることがわかる。最も大型の直接投資は今後も続くと思われる。その例として期待されているのがカジノリゾートであり、シンガポール関連のカジノ運営企業の対内投資も大型になるものと予想される。対内直接投資は製造業だけでなく観光開発の分野においても期待される所が大きく、すでにベトナム中部地区において40億ドル規模の大型カジノプロジェクトも香港、マカオ、シンガポール関連企業的主导で進んでいる。

<ベトナム企業の株価動向>

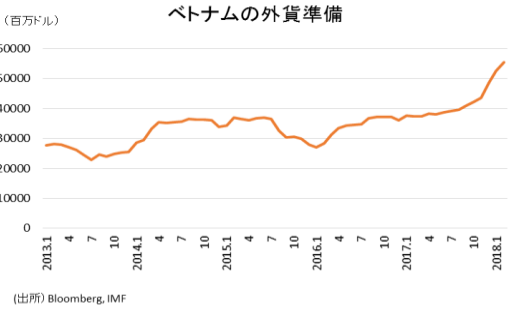
ベトナム株価指数は米国の金利引き上げ等の影響もあり大きく変動をするようになってきている。経済のファンダメンタルズは現在のところ悪化していないもののベトナム株価指数(VN指数)は1000~1200ポイントにかけて調整色を強めるとの指摘もある。



主要銘柄データ 2018.5.8現在

会社名	ティッカー	業種	時価総額 (兆円)	年初末投資収益率 (%)	株価収益率 (PER)
ビングループ	VIC	不動産・他	328.4	61.2	53.3
ビナムミルク	VNM	食品	267.0	-8.9	30.5
ベトナム外資銀行 [ベトナムバンク]	VCB	銀行	212.3	14.4	21.5
ベトロベトナム・ガス	GAS	ガス	187.6	6.3	20.1
サイゴンビール	SAB	食品	140.4	-4.8	32.4
ベトナム投資開発銀行	BID	銀行	111.1	36.3	17.1
ベトナム産業貿易商業銀行 [ベトナムバンク]	CTG	銀行	106.1	25.8	14.5
マサングループ	MSN	食品	95.8	25.8	28.0
ビンコムリテール	VRE	不動産・小売	88.9	-0.7	59.2
ホアファットグループ	HPG	鉄鋼	81.9	19.5	10.1
ベトジェット航空	VJC	航空運輸	79.9	25.3	16.1
ベトナム繁栄商業銀行	VPB	銀行	78.5	36.3	12.2
ベトナム石油公社(ベトナムペトロ)	PLX	石油製品	75.8	-11.3	22.8
バオ・ベト・ホールディングス	BVH	保険	59.3	40.9	38.8
軍隊商業銀行 [ミタラ・コマニヤ]	MBB	銀行	55.7	29.5	14.0
ハランド	NVL	不動産	44.5	8.5	21.3
HDバンク	HDB	銀行	42.2	-	22.3
FLC ファロス建設	ROS	建設	41.6	-48.2	56.8
モバイル・ワールド	MWG	小売	32.8	-16.4	13.7

(出所) Bloomberg



(出所) Bloomberg, IMF

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオサイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではありません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認下さい。